

## 松島町教育委員議事録（令和4年10月定例会）

- 1 招 集 月 日 令和4年10月28日（金曜日）
- 2 招 集 場 所 松島町役場庁舎 301会議室
- 3 出 席 者 内海俊行教育長、鈴木康夫委員、安倍七恵委員、佐藤晴子委員、小澤晴司委員
- 4 説明のため出席した者  
千葉忠弘教育次長兼課長、岸淳一学校教育班長、土井弘通生涯学習班長、熊谷賢学校給食センター所長、赤間香澄中央公民館長、三品隆教育指導専門員、金津晶子学校教育班主査
- 5 議 事 日 程
  1. 開会 令和4年10月28日（金曜日）午前9時30分 開会 （録音開始）
  2. 前回委員会の議事録の承認
  3. 議事録の署名委員の指名 佐藤委員・鈴木委員
  4. 報告事項
    - (1) 一般事務報告
    - (2) 教育長報告
  5. 協議事項
    - (1) 令和4年11月定例会について  
日程案：令和4年11月25日（金）午前9時30分 松島町役場3階 301会議室
6. その他
7. 閉会

## 6 議 事 録

### 1. 開会 午前9時30分

〔金津主査〕 それでは皆様おはようございます。（「おはようございます」の声あり）

これから松島町教育委員会会議令和4年10月定例会を開会いたします。

開会の挨拶を内海教育長よりお願いいたします。

〔内海教育長〕 はい、おはようございます。（「おはようございます」の声あり）

子どもたちも学習発表会や運動会、全て終わって、2学期のまとめというか、充実する時期に入っております。スポーツの秋、学習の秋とか読書の秋とか、ちょうど過ごしやすい季節になりましたので、今どんどん頑張っているところでございます。

昨日の新聞に、文科省から生徒指導の問題行動の全国版がでてきました。それについてのコメントも私の教育長の中でお話しさせていただきたいと思っております。

あと、教育委員さんにおかれましては、前回のPTAの方々と教育委員会の方々の懇談会に来ていただいて貴重なご意見をいただき、本当に感謝申し上げます。

内容はお話したと思っておりますけれども都合があり出席できかねて、逐一、次長のほうから聞かせていただきました。来年もやりたいというような方向になっているようなので、お互いにウィン・ウィンになるようにこれからも続けていきたいなと思っております。

簡単ですが、後半の部分でいろいろ細かいところをお話しさせていただきます。

今日はどうぞよろしく申し上げます。以上です。

〔金津主査〕 ありがとうございました。

### 2. 前回委員会の議事録の承認

〔金津主査〕 続きまして、2番、前回委員会の議事録の承認につきまして、9月臨時会及び定例会の議事録につきまして、配付いたしました資料のとおり承認ということでよろしいでしょうか。（「はい」の声あり） ありがとうございます。

定例会終了後に署名をお願いいたします。

### 3. 議事録の署名委員の指名

〔金津主査〕 続きまして、3番、議事録署名委員の指名となります。

今回は、佐藤委員と鈴木委員をお願いしたいと思っております。よろしくをお願いいたします。

### 4. 報告事項

#### (1) 一般事務報告

〔金津主査〕 続きまして、4番、報告事項に移ります。

(1) 一般事務報告について、学校教育班から申し上げます。

〔岸班長〕 それでは、学校教育班の行事報告を私のほうからご説明いたします。

資料の1ページをご覧ください。

主な行事について説明いたします。

10月につきましては、様々な学校行事が行われています。

まず1日、町内各幼稚園で運動会が行われております。

小学校関係で、8日土曜日に第一小学校、15日土曜日には第二、第五小学校のほうで学習発表会が行われております。

19日には、第一小学校の6年生が修学旅行を実施しております。

中学校関係では、4日に修学旅行、22日に運動会を実施しております。また、こちらには記載しておりませんが、中学校新人戦で地区大会を勝ち抜いたサッカー部と男子バスケットボール部がブロック大会に出場しまして、こちらのほうも勝ち抜いておりまして、両部活とも県大会への出場を決めております。

各行事につきましては、コロナ感染により欠席した子どもたちも数名おりましたが、全ての行事を実施しているところです。

続いて、21日金曜日には、先ほど教育長からもお話がありました松島町PTA連合会役員との懇談会を実施しております。教育委員の皆様にも出席していただきましてありがとうございます。

こちらの懇談会では、各PTAから会員数の減少があり役員の成り手がいない、それから、コロナ禍での活動制限

や活動のばらつきによる不公平感が保護者の間で広まっているなどの課題が報告されておりまして、その中で、委員の皆様からは、PTAと学校だけではなくて、教育委員会や地域の方との連携を図っていったらどうかという意見や、会員数の減少は全国共通の課題であって、今までどおりやっていくのはもう難しいので、スリム化は必須である、やれるところからどんどん変えていったほうがいいのではないかとというような意見をいただきまして、無事終了しているところです。

続きまして、24日月曜日、来年度、小学校に入学を予定している園児等を対象に、就学時健康診断を実施しております。こちらは71名の園児が受診をしております。

続きまして、26日水曜日、塩竈地区教育支援委員会が実施されております。こちらの委員会は、特別支援学校や特別支援学級を希望する児童がそこに通うことが妥当であるかどうかというものを病院の先生や各市町の代表校長、担当教諭などと話し合いを行う委員会となっております。松島町分として、8名の方について協議していただき、8名とも希望どおり特別支援学校や特別支援学級が相当であると認定されております。

行事報告については以上となります。

続いて、行事予定です。資料の2ページをご覧ください。

11月1日、松島町内通学路の合同点検を実施いたします。国道、県道、町道の道路管理者と、それから警察の方と共に通学路の危険箇所について点検を行う予定となっております。

11月8日火曜日、第2回松島町ICT教育推進協議会を予定しております。今年度から委託しているICT支援員と共に、職員のICT技術向上のためどういった研修が必要かなどについて協議する予定となっております。

学校教育班からは以上となります。

〔金津主査〕続きまして、学校給食センターお願いいたします。

〔熊谷所長〕それでは、3ページ目をご覧ください。

学校給食センターの行事報告をさせていただきます。

10月1日から28日までの間につきましては、10月18日に学校給食センター運営審議会を文化観光交流館の会議室で午後3時半より開催いたしました。教育長より運営委員に委嘱状を交付し、会長、副会長を選任いたしまして、運営方針や協議事項につきまして会議を行いました。1名の欠席で9名参加でありました。安倍委員さんにもPTA会長としまして参加いただきました。ありがとうございました。

続きまして、10月24日は先ほども出ましたが、新入学児童の健康診断、そちらに合わせまして、事前に配付しておりました食物アレルギーの予備調査票を佐藤栄養士と共に回収を行い、併せまして、給食契約書の提出も受け付けました。対象園児71名中、アレルギー対応予定者は1名でありました。

続きまして、行事予定ですが、11月11日金曜日に、学校給食会による学校給食用パン・米飯加工委託工場への立入検査が実施される予定でありまして、今年度よりご飯とパンを配送していただいております、大崎市古川にありますゆきゆうせい堂のほうに同行する予定となっております。以上となります。

〔金津主査〕それでは、学校教育班及び学校給食センターの報告について、ご質問等ございますでしょうか。

(質疑)

佐藤委員

3点お話しさせていただきます。

1点目は、過日のPTA連合会の役員の皆様との情報交換のことにつきましてお話しさせていただきます。本当に開催していただいてよかったなというふうな思いでございます。ありがとうございます。各学校のPTA会長さん方から、今現在の困り感というものをいろいろお伺いして、その場にいた、私も含め皆様からそれぞれご意見をお話しさせていただいたことが何かしらの、会長さんにとっても一つの情報として取捨選択していただきながら情報共有できたかなというふうな思いと、私自身、やはりこういうふうになんかとお顔を拝見しながらお話しできたことはとても意義があることだなと思いました。今、リモートとかオンライン、オンデマンドとかいろいろございますけれども、そういった場を設定していただいたことが今後にもつながっていくかと思えます。ありがとうございます。

それから、2点目は修学旅行、運動会、学習発表会等の各行事が、お天気に恵まれて開催されたこと、本当によかったと思います。子どもたちの活躍の場が保障されたということ、それから、今後の成長にもつながっていくというふうな思いです。そういった行事を開催するに当たっては、教育長先生はじめ教育委員会の皆さん、それから学校の関係者の皆さんのやはりご努力があってこそのことだと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。

3点目は質問です。先ほど、食物アレルギーのお話がございましたけれども、1名の方いらっしゃるということで、アレルギー対応としてどのような配慮をされているのか、お伺いしたいと思います。

います。よろしくお願いいたします。

熊谷所長

アレルギーの対応につきましては、医師の診断書をお申込みをいただきまして、必要に応じまして、パンとかご飯とか、牛乳は一部停止を行いまして、代替食は出しておりません。あと、詳細献立ですね。食べられる子、より分けて食べられる子も含めまして、詳細献立を希望の方は詳細献立を配付しました。

今回の子に関しましては、姉も既にアレルギーでして、魚卵ですね。給食では出す予定はないんですが、詳細献立表の配付を希望しておりまして、今後、病院を受診しまして、診断書を受けまして、来年度から詳細献立を毎月配付する予定となっております。

佐藤委員

詳細献立も配付していただいているということで、保護者の方にとっても、子どもにとっても、安心して給食を食べられるということになるかと、その範囲内ということになりますけれども、そういったことにつながるといいますので、大変感謝いたします。ありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。以上でございます。

安倍委員

ご報告ありがとうございました。いろいろめじろ押し、行事だらけで、子どもたち疲れを見せることなく素敵な笑顔をホームページで拝見できたことは大変うれしく思っています。

修学旅行なんかを見ていますと、文化財とか各地域のところで一生懸命見たり聞いたりするだけじゃなくて、メモを取る姿がとかを見ると、やはり松島町のまるごと学とかが、そういう姿につながったのかなということで、大変よかったなと思って見ていました。

中学校のほうは、3年生はもう2学期に入ってから、テスト、合唱コンクール、運動会、修学旅行もあってという、もうずっと走りづめに走ってきた中で、やはりコロナもちよこちよこあったりしたんですね。そこで、やはり最後の運動会、何とか先輩たちみたいになりたいというところで頑張っただけなんですけど、やはり、ちょっとタイト過ぎたのかなというところで悔し涙を見せる子もいて、何かもどかしさも感じながら、こっちは感動いっぱいなんですけれども、本人たちはもっとやりようがあったのかなとか、私たちもっと何かできたのかなという思いがしました。子どもから「こういうことを言っていたよ」などというのを聞くと、これから壁にぶつかって乗り越えていくときに、そういったものがそれで終わりじゃなくて、そういうものも生かして、どうこれから過ごしていくかというところのヒントにつながっていけばいいのかなと思って見ていました。次年度からはそういうところも多分課題として見直しなどもしてくださると思うので、今度の2年生も3年生を超えるような姿を見せてくれるのを楽しみにしているところです。

先日の懇談会、本当に皆様ありがとうございました。コロナでストップしていたんですけど、今回やろうということで、皆様のご協力の下、開催することができました。お忙しいところ、参加していただきありがとうございます。

やはり、晴子先生がおっしゃったとおり、どこも課題的には同じです。人数が足りない、役員のメンバーがほとんど変わらない、席替え状態。そして、やはりコロナがあるがために、何かをするとなったときに、皆さんの意見がばらばらで、やりたくても、やろうとしても、なかなか前に進めないというようなところとか、PTAだけではもうどうすることもできない、地域の力を借りたいけれども、どういうふうにしたらいいかという手だてが分からないというような、分かっているけれども、どこから手をつけていいか分からないのが現状でした。でも、こうやって先生方の話を聞いて、やはり、大事なものは大事なけれども、時代に合わせて、現状に合わせて変えていかないと、もうそのものが駄目になってしまうということもすごく身にしみたので、ここからいろいろ話を前向きに進めていくと思いますし、4校手を取り合って何かできることも見いだしていきたいなと思っているので、教育委員会の皆様にも助けていただかないとどうすることもできないので、今後ともよろしくお願いいたします。また、次年度以降もそういった機会を設けていただけたらうれしいです。お願いします。

鈴木委員

私、お聞きしたいことがありまして、11月1日通学路合同点検と。通学路というのは、私もいつもやっているんですけどもどうやって、ここは通学路で、ここは通学路でないと、例えば一戸建てのうちで、山の中で1人しかいない子が学校に行く、これは通学路にしているんですか、例えばね。だんだん今暗くなって、昨日ちょっと私も早く帰ってきて見ていたら、暗い時期に1人で歩いている子どもがいたから、ここは通学路かな、あそこは通学路かな、どうなっているのかなとかね。怖いのは、何か変なおじさんがいたりというのものもあるしね。だから、さっき、主催はこれはPTAかな。警察の方とか立ち入るとおっしゃっていたけれども、これって大事だね。去

年はどうだったかということの繰り返しでなくて、何か、これまでの改善事項というのはあったのかな。ここは通学路だよと、例えば第五小学校の通学路というのはことことここだと。ここは通学路でないと。だから何か子どもが通ってもここは通学路でないから駄目だよというふうにしているのか。そこら辺というのはどういうふうに決めていたのか、ちょっと教えてください。

岸班長

まず通学路なんですけれども、通学路は学校のほうで指定するんですが、家から学校までではなくて、主な幹線道路が通学路になってくるので、そこまで、家からそこまで出るところは、はっきりとした通学路の指定はしていないんですけれども、家からメイン道路まで出てくれば、そこからこの道を通って学校まで来るんだよというような。

鈴木委員

そうすると、メイン道路を通学路としていて。そして、今回の点検の主体は。

岸班長

実際、今回11月1日にする通学路合同点検は、町教育委員会が主催ですけれども、その前段で、学校のほうから危険箇所の一覧を出していただいています、学校で指定している通学路の中で、ここがちょっと見通しが悪いですよとか、ここの白線が消えかかっていますよとか、この辺に信号があったほうがとかというところで、そういった一覧を頂いておりまして、その一覧を基に、今回、道路管理者や警察と共にどういった対策が立てられるかということで話合いというか、現地を見ながら点検すると。

鈴木委員

なるほど。そうすると、メインの道路の信号とか、白線が消えているとか、そういうものの確認ですね。そこをしっかりとよということですね。PTAの方も入るんですか。

岸班長

今回は学校の先生と教育委員会と、さっき言った管理関係者等が入るので、PTAの方は入らないんですけれども、PTAのほうでも学校ごとで危険箇所マップとかというものを作っているところもありますので、そういったところから、学校のほうで危険箇所の一覧というものを作っていただいていますので、PTAからの意見とかも反映された危険箇所というような。

鈴木委員

その危険箇所一覧をみんなで見て、PTAが指摘した危険箇所については、みんなで1回、やはりどういう危険があるかとか確認し合ったほうがいいな。せっかく。

岸班長

なかなか数が多いので、1回で全部というのは難しいので、その中でも、今回でいうと、国道とか県道の方が来ていただくので、そちらのほうをメインにしています。町道とかであれば、基本的には町の部局の者と一緒に見に行けるので、今回、そこに合わせていません。

鈴木委員

そうですね。できることはやりましょう。点検したほうがいいかな。

千葉教育次長

鈴木先生、その結果、いろいろこういうことをやりましたというのはまた学校のほうにフィードバックして、そういう形では行う予定です。それは去年もやっていますが、今年もやります。

兼課長

安倍委員

補足いいですか。この合同点検に当たって、一応さっき言った町P連4つの会長、教頭、それから健全育成だったり、危険箇所を見回る部隊があるんですけれども、夏休みとか巡視していただいて、そこで各学校で危険箇所が挙がったものを共有して、それを役員会で話し合っていて、実は懇談会にぶつかけたりはしていたんです、過去にこういうところが危ないんですと。でも、それをメインに話し合うよりはということで、先にこういうところがあるのでということで、こちらで話し合ったところをまず投げかけて、これは私たちの案というか構想なんですけれども、PTAとして「ここら辺の草刈り、自分たちでできるんじゃない？」とか、「看板、PTAで立てられるんじゃない？」とか、保護者に呼びかけたら、小っちゃい穴だったりそういうものを埋めていく作業が「うちのお父さん、こういうのできるかも」みたいな、とか。全部が全部「できません、ここ危ないです」というのを、結構今まで全部渡していたんですけれども、ここは自分たちでできるんじゃないかな、保護者とかでできるんじゃないかな、とそういうこともやっていけたらいいよねという話は、会長同士で話したりとかはしていたんです。

ただ、この健全育成の会で危険箇所を話し合ったときに、ある会長さんが、「去年のはどうなっているんですか」ということで、直していただいたところがあったんですけれども、それがこちらの委員会には返ってこなかったんですね。なので、そのところも何をお願いして、何がこうなったかという把握がうまくかみ合わないところがあって、「やってください」だけで終わるんじゃないかと、そこがどうなったかというところまでちゃんと返ってくるまで見ないと駄目だねという話をしていました。

鈴木委員

先日のPTAとの話合いのときに、連携って大事だなと、そういう点も含めてね。

安倍委員

なので、そんな感じの延長線上の危険箇所の巡視というか、してくださるそうなので、やはり学校ごとにマップを作ったりとか、ホームページに載せたりとか、子どもたちにプリント

鈴木委員  
安倍委員

を配付したりとかで周知している、やり方はそれぞれ違うんですけども。

何かあってからではちょっと遅いからな。

先日ちらっと言った松中の通学の部分、何とかならないかというのも、それも1つであって、そしたら、横断歩道の問題とかもいろいろあったので、やはり学校だけとか、私たちの力だけではできないというところもあるので、提出させていただいていました。ありがとうございます。

〔金津主査〕 そのほかございませんでしょうか。

それでは、報告を続けさせていただきます。生涯学習班お願いいたします。

〔土井班長〕 それでは、生涯学習班の行事報告並びに行事予定を説明させていただきます。

資料の4ページをご覧くださいと思います。

まず初めに、行事報告からご説明を主なものをさせていただきます。

10月1日に宮城県市町村ジュニア・リーダー（中学生）技術研修会が宮城県青年会館で実施されました。本町からは中学生、2年生、1年生の4名が参加をしているところでございます。

10月5日は全国史跡整備市町村協議会大会ということで、岩手県平泉町の平泉小学校で開催されたところで、町長並びに次長、課長の3名が出席しているところでございます。

10月10日、二市三町のジュニア・リーダーの合同スポーツ大会ということで、多賀城市、塩竈市、七ヶ浜町、利府町、本町ということで、二市三町でジュニア・リーダーの子どもたち総勢約30名が集まるスポーツ大会を七ヶ浜町のほうで実施しているところでございます。

16日でございます。稲刈り体験事業ということで、こちらにつきましては、詳細の資料を別に用意させていただいておりますので、行事予定の報告の後に細かく説明させていただこうと思います。

20日になります。青少年健全育成松島町民会議の研修会ということで、こちらは消費生活センターから講師を招きまして、実際、昨今、スマホゲームの課金問題であったりゲームの中での子どもたちの交流の部分でのトラブル、あとさらには18歳成人になったことでの何かその変更点などを研修会で補講いただいたところでございます。対象者は青少年健全育成会議の会議員のほか、民生委員さん、PTAさんのほうにもご案内はさせていただいたところです。

23日に二市三町の土器づくり教室ということで、こちらは以前成形をしたものを、今回、火で焼くという、焼成体験ということで、七ヶ浜町の大木囲貝塚遺跡公園で実施しております。これは各市町5組ずつの親子という形になりまして、本町からも5組の親子が参加しているところです。大体、総勢、お子様2人連れてくる方もいらっしゃれば、ご夫婦で親がついてくるというところで、大体総勢80名ぐらい来ていただいたかなというところでございます。

そのほか、松島まるごと学として、19日、26日、27日に品井沼の干拓学習だったり、四大観巡りだったりというところを開催したところですので、そちらのほうはご覧いただければと思います。

続いて、行事予定になります。

行事予定は、まず11月10日、11日ということで、松島中学校の職場体験というものが中学2年生を対象としてございまして、生涯学習班のほうでその中学2年生2名を受入れる予定となっております。内容としましては、学芸員をうちのほうは配置しておりますので、そちらの職業体験ということで受入れをさせていただきます。主に資料整理だったり、あと可能であれば、今、発掘やっているところの発掘の補助も体験させてあげたいなというところで、その辺は今スケジュール調整というところでございます。せっかく役場に来ていただくので、役場の仕事がどんなものかというのを概要だけでもご説明できればいいかなと感じているところでございます。

あと11月13日は、こころ・はぐくみ隊のパート21、これが4回目の開催になりまして、低学年向けの工作教室なんですけれども、こちらがこれで終了となります。

14日、15日、17日につきましては、まるごと学の歴史めぐりであったり、品井沼干拓学習等となっております。

それでは、別個に資料をお渡しさせていただいた農業体験事業（稲刈り体験）実施報告というのをを使って、稲刈り体験の概要のみ説明をさせていただきますと思います。

実施日は10月16日ということで、場所は幡谷地区のほうでやらせていただきました。事業内容につきましては、4番に記載ございますが、農業体験事業としまして5月に実施しました田植え体験の関連事業として、米の収穫作業である「稲刈り」を体験することにより、米づくりの重要なプロセスを学び、自然の大切さや地域資源である農業の魅力と理解を深めるということで、今回につきましては、手作業による稲刈りで、鎌を使った稲刈りを体験してもらっているところです。

なお、さらに、農協青年部さんともいろいろ調整しまして、せっかく刈り取ったお米を食べたい方がいるんじゃないかということもあったので、いろいろ調整したところ、やはり、そうですねということで、販売していた

だけることになりまして、こちらの販売をさせていただいたところ、約半数以上の方がご購入を希望されるような形になりまして、引き渡しが今度の産業まつりの日に、その刈り取ったお米をお渡しして、皆さんに食べていただくということで、食育の面でも実習になったのかなというふうを考えているところでございます。

参加者数につきましては28名となっております、小学生が15名、保護者が13名ということで、今回は刃物を使うということで、必ず保護者同伴のイベントとしてやったために、小学生の体験者数が減ってしまったということにはなっているところです。

参考までに、田植え体験の参加者が15名のうちの13名いらっしゃったということで、連携した事業の参加をいただいたところかなと思っているところです。

裏面をご覧ください。

裏面は、このときの様子をちょっとフェイスブックで町のほうで紹介させていただいた内容となっております。そして、次のページにつきましては、体験をやっているところを写真で紹介しているものでございますので、後でご覧いただければと思います。

説明は以上で終わります。

〔金津主査〕続きまして、中央公民館からお願いします。

〔赤間館長〕はい。5ページをお開きください。

行事報告のほうからとなります。

10月3日から31日までですけれども、勤労青少年ホームの図書室が休館となっておりますが、11月1日オープンに向けて、ただいま準備中でございます。臨時コロナ交付金で購入しました児童書など約350冊が増えている状況となっております。こちらのほうもお披露目できるかと思っております。

続きまして、行事予定でございます。

10月30日、本日ですけれども、新聞の折り込みにプログラムを入れさせていただいておりますけれども、文化観光交流まつりということで3年ぶりの開催となります。皆さん思い出しながら、団体さんのほうも準備を進めている状況でございます。今回は、子どもアート広場といいまして、幼稚園、保育所、それから小学生の作品の展示と併せまして、松島中学校では美術部、地域文化部の参加がございます。それから、松島高校さんは舞台のほうでダンスの披露がございます。ぜひ、参加のほう、よろしく願いいたします。

それから、11月10日、こちらは分館長会議がございまして、移動研修の内容等を検討する予定となっております。記載はございませんが、11月10日、11日ですけれども、松島中学校の職場体験の受入れを行います。こちらは勤労青少年ホームの図書室のほうで2名、受入れを予定しております、本のカバーリングや除菌、貸出体験などを行う予定となっております。

次に、22日ですが、成人向けの寄せ植え教室を開催する予定となっております。以上でございます。

〔金津主査〕それでは、生涯学習班及び中央公民館等の報告について、ご質問等ございますでしょうか。

(質疑)

佐藤委員

2点お話しさせていただきます。

1点目はこの稲刈り、初めてですよね、今回の事業。初の事業を企画していただきまして、子どもたちにとって貴重な体験になったなど。このような体験がなければ、一生体験せずに過ごしてしまう子もいるかと思えますと、本当に貴重な体験であると共に、生き生きした活動で、実際やはりいろいろご協力いただかなければいけないというところあたりで、引き続きご継続いただく方向でよろしく願いしたいと思えます。

それから、もう1点なんですけれども、松島中学生の職場体験がいろいろ町の役場、あるいは勤労青少年ホームでも受け入れるということで、こちらも将来に向けての非常に貴重な経験でありますので、引き続きご尽力いただければと思います。ありがとうございます。以上でございます。

安倍委員

はい。ご報告ありがとうございました。

私も田んぼの授業ですよね。もう当たり前にお米を食べるといって、稲を植えて、そこからあんなふうになんか黄色いになって、刈り取ってという苦労というか、そういう天気のことを気にしたりとかどうなっているんだろうと、隣り合わせでああやって生育されたものを自分で刈り取って出来上がったんだという体験はすごく大事だと思いますし、そういう食育だけでなく、これからどんどんいろいろ発想を広げていただいて、いろんな子どもたちに機会を与えていただければなど期待をしておりますので、よろしく願いいたします。

同じく、職場体験の受入れ、本当にありがとうございました。こちらのほうもずっとストップ

して、例年と違って枠も広がったようでして、学校と話をしましたところ、生涯学習班のほうですごく協力していただいて、いろいろな人材ネットワークみたいなそういうものを駆使していただいて、かなり受入先が広がったということで感謝していますということを学校から聞いています。PTAを代表して、こちらもありがとうございました。感謝申し上げます。それで、この体験が自分たちの将来を見据える、またこれも一つの鍵となればいいなと思っておりますので、無事2日間終わられますよう、サポートのほう、よろしく願いいたします。以上です。

〔金津主査〕 そのほかございませんでしょうか。

## (2) 教育長報告

〔金津主査〕 続きまして (3) 教育長報告につきまして内海教育長お願いいたします。

〔内海教育長〕 はい。私のほうから。私も3点ほどお話しさせていただきます。

今日、松島中学校で指導主事訪問ということで、松島中学校で指導主事の先生方においていただいて授業研究会を行います。これは指導主事訪問を抱き合わせていたもので、毎年自主公開という形でやっていたものを指導主事訪問と抱き合わせました。

11月1日がみやぎ教育の日となっております、その前後でイベントをしましょうねという話が何年か前に起きました。松島町は指導力向上のために、その日の近くに大体年1回は自主公開して、先生方が集まって、自分たちの授業とか指導方法とか、そういうものを検討し合おうねということでやってきましたが、2年間コロナで中止しておりました。今回3年ぶりに復活しました。そういう意味もあって、本来なら教育委員さんも、実は自主公開にはコロナ前はお招きして見てもらっていたのですが、今回また1,000人を超えるような状況が宮城県はありますので、先生方のみでやらせていただきたいなど。

小学校で培った授業のノウハウを松中がどう生かしているかというのが今回の目玉になります。ノートはどうなるのか、発問はどうなるのか、みんなで話し合うというのはどうなっているのかと。一生懸命、長沼校長先生が変えようと努力したのが、今日お見せできるのではないかなと思っておりますので、私自身も非常に楽しみにしております。

2つ目は、次長のほうから松島の教育ということで皆さんに説明あったと思うんですけども、これをまた説明するつもりはないんですが、こども国際観光科について若干お話をしたいなと思います。

今週でしたかね、次長さん。長崎。

〔千葉教育次長兼課長〕 はい。

〔内海教育長〕 長崎の義務教育課のほうから電話がありまして、松島町のこども国際観光科について、簡単に言いますね。長崎がぴったりこれに当てはまると。歴史物も長崎あります、それから英語もしたいということで、松島のまるごと学と英語をミックスさせ、おもてなしの授業を展開するのが長崎の教育には欠かせないという電話をいただきました。12月の中頃、来て、見て、聞きたいと。授業をどうするのか分かりませんが、見たいのか、あるいは説明だけなのか分かりませんが、非常に高い評価を得ました。長崎の義務教育課ということだから、長崎県でこれを全体的にやろうとするのかなと思って。びっくりしました。長崎で大変評価されて、よく調べていました。第一小学校の実践、第二小学校の実践、五小、義務教育課の方々は小学校の名前をきちんとおっしゃっていました。次長と相談して、受け入れて、校長には大体お話ししておりますので、受け入れて、参考にすればそれはそれでいいかなと思っております。

3つ目は、先ほど挨拶でもお話ししましたが、文科省から児童生徒の問題行動及び不登校についての全体像というんですか、それが出てきました。宮城県もかなり不登校も高いし、問題行動も高いしということで、惨憺たる状態でした。

ただ、宮城県のコメントを見ると、何か支援員を預けるとか、フリースクールがどうたらこうたらというんだけど、授業が面白くないとか面白くあるとかということとは全く言及されていないということで、本当に不思議に感じました。何かポイントが、事実は事実なんですけれども、そういうところに向けていかないと、あと教員の未配置で不登校になっている人もいるんじゃないのかなとか、働き方できゅうきゅうなっているから不登校になっている子もいるんじゃないのかなと思っておりますが、松島のほうは、第一小学校では不登校は一人です。今年度に入って、新規の不登校はゼロです。300を超える学校で1というのは大変すごいことではないかなと思います。第二小学校は不登校1人です。30日以上ですよ。それで、新規は今年もゼロです。それから、第五小学校、不登校ゼロ、新規もゼロ。それから松中、不登校4人、新規はこれはゼロと言ったらいいのか1と言ったらいいのか、どういうことかということ、小学校から不登校なのが松中に入って不登校。これは新規と数えたほうがいいのか継続なんだけれどもね。松中に入ってからとなると1なんだろう、新規の1となるんでしょうけれど



も、そういう意味では、不登校4に対して新規が1という形になってきています。もみの木教室の先生や学校の先生方、それからSSW、SC、この連携が非常にいい感じで、この前の所長の訪問でも高い評価を、私自身見ても「ああ、面白いな」と、面白いというか、健全に回っているなど。特に、もみの木教室のホームページを一度でもいいですからご覧になっていただければ、いろいろな活動をやっております。あそこで心が癒され、あそこで学習がなされ、あそこで学校への復帰ということがかなえられているような気がしております。中学校になって不登校となるとなかなか改善ができないんですね。そのまま高校に流れていくしかないので、小学校のうちでできるだけ新規の不登校、新しい不登校をなくすようにこれからも努力していきたいなと思います。

あと、今現在いる不登校のお子さんについても全力でやっていきますが、かなり深い不登校、深いというか、ちょっと症状が重いので、SSWの専門的な人の知恵を借りながら、学校と教育委員会と、いろんな面でアプローチしながらやっていきたいと思います。

私のほうからこの3点、お話しさせていただきました。以上です。

〔金津主査〕ありがとうございました。

それでは、教育長からの報告につきましてご質問等ございますでしょうか。

(質疑)

佐藤委員

質問ではないのですが、不登校のことに関してお話しさせていただきます。

今日こちらに来る前にNHKのテレビを見ていましたら、不登校の保護者の方へのアンケートをこの度始めるとかというのを流していて、新聞にもちょっと出ていたんですけども、そうしましたら、不登校の児童生徒を抱えている保護者の方の思いとしては、一番多いのは、自分のせいなんじゃないかと思うということと、もう一つ、相談する人がいないということが大きな今抱えている問題ということでクローズアップされていました。

そういうことからいたしましても、不登校といってもいろんな要因がまずございます。学校でいじめられたとか、あとどうしてもなかなか授業についていけないとか、あるいは何の理由もないんだけども行きたくないから行かないというご家庭もありました。私、いろいろお話しさせていただいて、「何か理由はあるのですか」とお伺いしたときに、「本人が行きたくないと言うので行かせません」という理由だったり、ですから、その理由、要因としては多岐にわたっているというふうな思いがしております。

それで、学校として何ができるんだろうということを考えたときに、まず、授業が私はとても大切だと思っております。授業が楽しいとか分かるとか、難しいんだけども分からなかったことが分かったときの達成感、満足感、これが非常に重要であるなというふうに思っていて、そのためには、やはり教師の指導力向上というのは欠かせないところだと思います。

そして、教育長先生が再三おっしゃっているノートと板書の一体化、黒板に書いて、あとノートにもきちんと書いて、そして家庭学習もしっかりしてとといった、そういったところが徹底していけるといいのかなと思っております。

あともう一つは、教師自身が全員が授業に参加しているかどうかということを見取る力を確実に持つということだと思っております。全員が参加しているのかな、寝ている子いないかな、違うことを考えている子はないかなということあたりを見取る力というのも求められるところかなと思います。

そして、実は学校の教員だけだと難しいところは、スクールカウンセラーだったり、それからSSWだったり、それから町の子育て支援課とか、そういったところとの連携も当然これまでもなさっていると思いますので、引き続き必要かなと思っているところであります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。以上です。

安倍委員

松島のこども国際観光科、これが遠く離れたところでも注目していただけるということは、この発信力は大きいなと思って、やはり間違っていないんだなということで、多分ここからまた派生していくのではないのかなと思うところで、注目度はもっともっと増すのではないのかなと思うところで、より一層気合を入れて取り組んでいかれるのではないかなと思って、（「プレッシャーですね」の声あり）プレッシャーですけれども、見ております。楽しみに私も見ています。

それと反面、不登校ですよ。不登校、私もホームページでもみの木さんを見たりとか、あとは教育委員会に出たときにお話をいただいたりとかという、間接的にしか見たこと、聞いたことがなかったんですけども、ちょっととあるお母さんと話をしたときに、やはり、すごく感謝しておられましたし、いろいろな体験ができたり、すごく支えられているというものを感じられる

ということで、すごく皆さんの力がありがたいんだということを知ったので、もう本当にそれは聞いていたこととそこ関係している親御さんから聞いたことが合致したので、そうなんだ、すごいなど。場所をただ提供してこうしているだけじゃない、本当にそうなんだということを実感することがありました。

勉強もそうなんですけれども、小学校の高学年あたりから中学校になっていくと、やはり、言葉一言、たわいもない何かきっかけになることも多いんですね。そんなつもりはなかったのに言った。でも、子どもはある意味、その言葉の奥まで見ている。この先生が何を言った、この友達が何を言ったと、何か自分だけこう思われているんじゃないんだろうとか、何々君、何々ちゃんと違って自分だけはちょっと違う扱いのような感じがしたとか、言ったほうからしたらそういうつもりがなくても、やはりすごく多感な時期に入っていくので、そういったところの言葉って、もう出してしまったら消せない、消しゴムのように消すことはできないので、先生と生徒というのは人間なので、やはり相性で、友達同士も相性で、でもそれは勝手に組み込まれてクラスでやっていかなきゃいけない、部活でやっていかなきゃいけない、担任とやっていかなきゃいけない。それは自分の力でどうすることもできないんですけれども、そういった言葉とか、そういうところで、先生からしたら平等性だったり、友達とはそれこそちくちくことば、ふわふわことばとかというのがありますけれども、そういったことをもう本当に小さいときから言っていく。それでも、ある程度の時期が来たらどうしてもそこは守り切れないことが出てくるのは仕方ないけれども、そういうのをやはりみんなで見ていかなきゃいけないし、やはり、CMを作っていじめというものとかも取り組んではいるけれども、じゃそこから先、これからどうするのか。賞を取って終わりなのかじゃなくて、それを基に授業をして終わりなのかじゃなくて、ふいに昨日言われたんです、息子に。「賞を取ったって報告受けたけど、それだけで終わってしまったる感があるよ。そこから先どうするかじゃないの」と言われてはっとして、2回取りました、連続取りました、それはすばらしいことなのは分かるけれども、そういうことに取り組みます、今年もやりますみたいなことが上からおりてこなかった。だけれども、結果は聞いた。それはすごいと思う。こんな作り方ができるんだと思う。でも、そこから、やっぱり俺たちみたいに、ちょっとしたいごこぎも起きやすい時期に、何かやはり実際問題、来ていない子もいたり、分かるじゃないですか、子どもたちは。そういうものを生かせる何かがないと駄目なんじゃないかと言われて、「うわ、意外と大人な面も持っているんだな」ということで、そういう言葉だったり、生活面のところで、先生たちも大変でしょうけれども、よりいろいろ心遣いをいただけますといいのかなと思ってこの数字を見ていました。以上です。

小澤委員

今の安倍委員のお話もそうですし、さっきのお話もそうなんですけれども、やはり学校に対するいろいろな期待が高くて、特に先生という存在に対する期待が高いわけなんですけれども、先生という方々が今どういう状況に置かれているのかがあまりよく分からなくて、いろいろな校長先生、さらには県とかの教育委員会からいろんな宿題も出ているとか、研修もあるとか、レポートに追われているとか、そういう状況なのかどうなのか。先生たちが普通に大学を出て教員になって、社会経験を持っている人が増えているのか、そうじゃなくてとにかく今の状況にいきなり置かれているのか。先生方の教師力が求められている状況で、先生方はどうやってなっているんだろうかというところが、もし何かご存じのことがあれば教えていただければ。

佐藤委員

はい。よろしいですか。宮城県の教育はOJTというのがありまして、On the Job Training（オンザジョブトレーニング）ということで、仕事をしながら研修を積みながらやっていく。一般企業ですと、新入社員なり、社員になる前に研修期間があってそのお仕事に就くということがあるんですけれども、教員の場合はOJTということで、大学を卒業して、やはりすぐ先生ですよ。それで、そこに入って授業、担任なりなんなりというところをやっていくというのを、もうずっと、ここ数年やっているわけじゃなくて、ずっとそのタイプでやってきているところであります。

それで、その中で初任者研修といいまして、1年目の研修、2年目の研修、3年目の研修、この研修を初任のときから年間何回か研修をやっています。そのために、種類としては外部に、研修センターというところに行っているような研修を受けたり、あとは事務所だったり、そういうところに行って、勤務地以外のところ、外に出て出張して受ける研修と、それからOJTですので、学校の中での研修ということで、初任4人に対して1人の拠点校指導教員というものがつきまして週何回か、1人の、要するに何年かキャリアを積んだ教員が拠点校指導教員という名称で、大体4人

に対して1人ついて、ですから、週1回ぐらいずつ回りながら、1日7時間、拠点校指導教員がついて、うち3時間は授業を見たりなんかするんですけども、1時間は講義をしたりというふうな、丸々1日、その方のためにつく形式を取っていて、それが1つと、あと、校内にも指導教員がいて、これは教務主任と言われる方がなっている場合が多いんですけども、その指導にいろいろと日々当たっています。あと、学年でも悩みがあったら共有してという形で、いわゆる教員の研修としてはそういった形で、1年目、2年目、3年目の研修と、あと5年目の研修、6年目を迎えた教員に対する5年研というのと11年目を迎えた中堅研という研修があります。そして、20年目を迎えたときに20年研といった、そういった研修を組み込んでいるということと、日々学校の中でのそういった、特に初任者については初任研担当者ということについて、いろいろ相談に乗ったりしている状況であります。研修についてはそんな感じで進んでいて、あと、今ご質問があった教員のいろいろなどという状況なのかということですけども、実際、ICTの関係で新しいことがちょっと入ってきていますので、今現在はそういった研修を組み込みながらやっているところではあります。そこところはちょっと多忙感はあるかなという感じはあります。つまり、GIGAスクール構想というものが国から出ましたので、1人1台端末のICTですね。iPadを子どもたちは全部持っていますので、そのiPadを使っていろいろな情報を授業の中で組み込んでいくということが一つ重要な内容として組み込まれたことによって、それに対する、やはり年齢的にいうと、なかなか年齢層が上の方だとその技術を身につけるのにちょっと難しさを感じている方もいらっしゃる。同じことをやっても、若い世代の方々はずぐマスターできるという一方で、年齢の上の方々についてはちょっと難しいところはあるんですけども、ただ、その中でもやはりそういうものを活用してというところで、松島町内の学校でも研修会、一小なんかでもやっていますみたいにホームページに載っていたりしていますけれども、校内での研修と、あと県で企画している研修とか、そういうものを組み込みながらやっているところなんです。こんなところですか。よろしいでしょうか。（「ありがとうございます」の声あり）

教育長先生、よろしいでしょうか。

内海教育長

大学のほうでもうちょっと現場実習をやっていたら即戦力になっていくんでしょうけれども、新任の先生が教育現場に来ると、新任であろうとベテランであろうと、子どもたちは先生ってやってしまうので、やはりそれだけ重くなるので、きちんとした指導技術を持っていないと子どもたちに振り回されてしまうというところがあります。

ただ、新任が悪いのではなくてと言う人もいます。勉強しない先生が悪いんだと言う人もいますので、そこら辺は50だろうが何だろうが、不適格な人はたくさんいますので、そこら辺のところを私たちがチェックして、指導していかなきゃならないと。簡単ですが、以上です。

## 5. 協議事項

〔金津主査〕ありがとうございます。続きまして、5番、協議事項に移ります。

令和4年11月定例会につきまして、日程案として11月25日金曜日、午前9時30分から、こちら301会議室を予定しております。こちらの日程でよろしいでしょうか。（「はい」の声あり）ありがとうございます。

## 6. その他

〔金津主査〕続きまして、6番、その他に移ります。

事前に配付しておりましたが、教育行政点検評価報告書を10月11日に議会に報告書を提出して報告いたしましたので、ホームページにも掲載しておりましたので、ご確認いただければと思います。

それでは、全体を通して質問等ございますでしょうか。

〔千葉教育次長兼課長〕すみません。1点よろしいでしょうか。

ちょっとよかった出来事というか、報告を1点させていただきたいと思います。先日、行事報告でもありましたが、松中が修学旅行に行ってきたんですが、その中でちょっと私耳にしたんですけども、浅草の浅草寺で外国人の方が道に迷って困っていたときに、松中生が自分の夕食を遅らせてまでもその外国人の方々を道案内とか、助けたというのがいいエピソードにちょっと聞こえてきたので、教育委員の皆様にもお知らせしたいなと思ったのと、あとなかなか不慣れな地で見知らぬ人、さらに外国人というとなかなか声をかけられないところなんですけれども、ふだんからそういう気持ちとか心があるからかけられたのかなと、私もちょっとうれしかった出来事がありました。たしか、安倍さんの息子さんも行っていると思うんですけども、何かそういう話とか聞

いていましたら教えてもらいたいと思います。

〔安倍委員〕はい。実は我が子もそこに含まれていたんです。まず、浅草の散策の時間があっただけですけども、いろいろ予定が押しちゃって、1時間ちょっとしかないというところで夕食も食べると。夕食を食べてお土産を買ったりして、次、劇団四季に行かなきゃいけないというところだったんですけども、外国の方が松中生といろいろしゃべっているところを見まして、5人の男の子が、うちの子どもも含めて、「なに？」って言ったときに、行けないんだ。「どこそこに行きたいけど行けない」と、片言というか、日本語交じりじゃなくて、日本語でしゃべっていらっしゃるんですけども、「あ、そうなんだ」ということで、先にいた子たちはいなくなっちゃったみたいなんですけれども、その男の子5人で、「じゃ連れていってあげよう」ということで、でもそこでまず最初にしゃべっていたら、店の方に「目の前でやめて」みたいなことを言われ、じゃ場所を移動しているんな店に、「ここ、どこか知っていますか、ここ、どこか知っていますか」と言って、あの通りをうろうろして、でもなかなか行き着けなくて、最終的に電話番号が分かればそこに連絡できるかもしれないということで、電話番号が分かるということが分かったので、公衆電話を探そうということになって、公衆電話を探そうと思っていたところに先生を見つけたので、先生のガラケーを貸していただいて電話をして、どこそこのどこそこまでじゃあ行けばということで送り届けて、その方には「電話貸してもらった、お金返します」だとか何かいろいろ、「いや、大丈夫です」「いい生徒さんですね。どこの中学校ですか」みたいなことを言われたんですけども、「大丈夫です、大丈夫です」みたいになって、あちらから名刺を頂いたみたいで、先生が「私は何々です」と名前を言って、「じゃどうも」って行ったらいいんです。

そうしたら、そこでそれに費やしたので、彼ら5人は晩御飯を食べられないまま、そのまま次の劇団四季のほうに移ったんですけども、親としてそれをやはり聞いたときに、自分の時間を削って、自分もそんな行き慣れたところではない。行ったことはありましたけれども、そんな分かるところでもないところで助けようと思った、最後まで投げさずちゃんとやり遂げたという、その声をかけるちょっとした勇気というのは意外と、なかなか大人にもできないのかなと。5人でそこで楽しむという時間も今しかできないかもしれないけれども、これもこの子たちにとってすごく大きな時間になって、大きく成長して帰ってきたのかなと思って、誇らしく思えたり、松島も、今はコロナで若干ストップしているとはいえ、コロナがなくなればもっともっと外国の方とか日本各地から来られて、何か分からないって困ったときって絶対あると思うんです。そういうときに、気さくに「何ですか」と言うのが、やはり英語のユーチューブで作ったああいうものもつながっているだろうし、日頃から教えていただいているようなものにリンクしていつているのかなと。だから、松島でもそれって当てはまる、逆パターンが当てはまるよねと思ったので、何かこれってすごい、いろんな意味ですごいので、みんな知ってくれと、別に我が子云々じゃなくて、そういう生徒が松島中学校にいる、そして松島にそういう宝があるんだという、きっとここだけじゃなくて、まだまだいろんなところにそういう宝が、見えてないだけであると思うので、何か知るきっかけになれてよかったなと思った一件でした。（「ありがとうございます」の声あり）

## 7. 閉会 午前10時40分

〔金津主査〕それでは、松島町教育委員会令和4年9月定例会を閉会いたしますので、簡単にご挨拶を鈴木教育長職務代理人、お願いします。

〔鈴木教育長職務代理人〕いいですね、この町もね。すばらしい。

本当にこの頃寒く秋も深まってきている中で、子どもたちがいろんな活動をやっている様子を今日の委員会で拝聴しました。とても順調に進んでいるなというふうに理解しました。

稲刈り体験、まるごと学、いろんな活動、すごいですね。そして、それに加えて、先ほどの英語教育、今の浅草での話も含めて、そして、長崎から声がかかって、これはぴったり長崎にマッチしているという。この町の教育委員会の活動というのは、いいですね。順調に進んでいるなというふうに、実は今日も活動報告を聞いて本当に思いました。

そしてまた、今朝の新聞にもあったんですけども、いじめとか不登校とかいろんな。でも、さっき三品先生の話もあったんですけども、教育長の話であれ、もみの木教室の活動というのが非常に実効性を上げているなというのも含めて、いいですね。町の取組というのは今本当に、どんどん成果が出てくると思いますね、このまま継続していけば。こういった活動をこのまましっかりと、みんなで進めていきたいなと、していただければなというふうに思いました。本当にご苦労さまでした。（「ありがとうございます」の声あり）

この会議録の作成者は、次のとおりである。

教育課学校教育班 主査 金津 晶子

上記会議録が正確であることを認め、ここに署名する。

令和4年11月25日

委 員

委 員